

令和 7 年度 高岡市教育委員会重点施策

高岡市教育大綱（対象期間：令和 2 年度～令和 8 年度 ※ 2 年間延長）を踏まえ、本市の未来を拓く人材の育成に資するため、令和 7 年度高岡市教育委員会重点施策を定め、各種教育施策を総合的に推進します。

高岡市教育大綱

基本理念

未来創造のひとづくり・ふるさとづくり

基本方針

基本方針 1

子どもたちの連続した成長を切れ目なく支援する教育環境の整備充実

基本方針 2

基礎基本の徹底と個性が輝く Society5.0 の未来を拓く学びの充実

基本方針 3

絆を深め、ふるさと高岡に愛着と誇りを育む地域ぐるみの学びの推進

基本方針 4

共に生き共に創る、地域に活力を生み出す人生 100 年時代の学びの推進

基本方針 5

夢や希望を育み、健康を支えるライフステージに応じたスポーツの振興

基本方針 6

文化創造都市高岡の優れた歴史・文化の保存・活用とさらなる創造

令和7年度 高岡市教育委員会重点施策

1 子どもたちの連続した成長を切れ目なく支援する教育環境の整備充実

① 創造性に満ちた学校経営の推進

- 各学校の教育目標の実現に向けて、創意工夫を生かした教育課程の編成と実施に努め、特色ある学校づくりを推進する。
- 日々の実践に基づいたOJTの推進等、研修の方法や形態を工夫し、教師一人ひとりの指導力を高め、信頼される学校づくりに努める。
- 幼・保、小、中、高等学校の相互の連携を図り、児童生徒の連続した成長発達を見通した連携教育や一貫教育を推進する。
- 中学校区ごとに小中一貫教育推進のための組織を設け、目指す子供像を共有するとともに、小中一貫教育グランドデザインを策定し、9年間を見通した取組みや活動を実践する。
- コミュニティ・スクールの導入を通して、学校と地域が連携し、地域住民や保護者等が一定の権限と責任をもって学校運営に参画することで、地域とともにある学校づくりを推進する。
- 教育センターや小学校長会、中学校長会、小学校教育研究会、中学校教育研究会、中学校体育連盟等の取組みを通して、各学校や教員の優れた実践を共有し、本市全体の教育向上につなげる。

主な事業	予算額（千円）
教育研究団体助成費	6,426
小中一貫教育推進事業費	795

② 将来の生き方を考える教育の充実

- 「高岡市子ども読書活動推進計画」を基本とし、児童生徒が読書や講演などを通して、先人の生き方に触れる機会を充実させ、自らの将来を考え、夢や希望を育む契機とする。
- 地域の様々な分野で活躍される人々と接する機会をより多く設け、働くことや社会の様子などを直に知ることができるよう努める。
- ボランティア活動や「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」など、様々な体験活動を生かし、系統的なキャリア教育を推進する。
- 郷土の偉人である高峰譲吉博士の功績を広く市内外に知らせる顕彰事業に取り組む。

主な事業	予算額（千円）
ものづくり・デザイン科推進事業費	13,065
高峰譲吉博士顕彰事業費	615
論理コミュニケーション推進事業費	4,081
社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業費	4,729
小学校地域学習サポート事業費（地域人材の活用）	378

③ 教育効果を高める教育環境の整備

- 「今後10年を見据えた高岡市における小中学校の配置について」で再編の方針を示した校区において、再編統合の着実な進捗を図る。
- 高岡市教育将来構想検討会議を継続して設置し、教育の充実や教育環境の整備などに関する諸課題について、引き続き検討を進める。
- 高陵中学校区及び高岡西部中学校区では、小中一貫校の開校に向けて、校舎の増築及び改修工事を進める。
- 伏木中学校区では、小中一貫校の開校に向けて、実施設計を行う。
- 小学校35人学級に対応するため、野村小学校のエレベータ設置に係る設計を行う。
- 学校体育館等における安全・安心な活動を確保するとともに、災害時における避難所としての環境改善を図ることも視野に入れ、空調環境の在り方を調査する。
- プール授業の機会を確保するため、天候等に左右されない民間施設等の屋内プールを活用したプール授業の実証実験を行う。
- 安全で快適に学べる教育環境を確保するため、学校施設・設備の改修に取り組むとともに、更新時期を迎える施設の老朽化対策を計画的に進める。
- 経済的理由により就学困難な児童生徒等の保護者に対し、必要な援助を行い、適切な教育機会の確保に努める。
- 海外へ留学をする青少年に対し支援を行い、国際社会で活躍できる人材の育成に努める。

主な事業	予算額（千円）
高陵中学校区小中一貫校整備事業費	1,205,280
高岡西部中学校区小中一貫校整備事業費	1,318,776
伏木中学校区小中一貫校整備事業費	46,660
35人学級対応事業費	10,017
市立学校体育館等空調環境調査事業費	10,000

小学校管理運営費 (うち、民間施設等を活用したプール授業(実証実験))	(12,000)
学校施設営繕費	162,213
就学援助費(学校給食費、医療費等)	79,120
就学援助費(学用品費、修学旅行費等)	74,050
奨学資金貸与事業費(大学生等への奨学金貸与)	11,900
荻布奨学金(高校生・高専生への奨学金支給)	1,440
海外留学支援奨学金給付事業費	2,500

2 基礎基本の徹底と個性が輝く Society5.0 の未来を拓く学びの充実

① 確かな学力をはぐくむ学習指導の充実

- 基礎的・基本的な学力の着実な定着を図るとともに、自ら学び、考え、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力、コミュニケーション能力を育む。
- 体験的な学習や能動的な学習を重視した授業改善を進め、知的好奇心、探究心を育み、学びに向かう力を高める。
- 児童生徒の実態を把握し、家庭学習も含めた学習習慣等の定着を図り、学力向上に向けた取組みを推進する。
- 1人1台学習専用端末や高速通信回線、大型ディスプレイ等のICTの教育環境において、電子教科書や教育アプリケーション等を有効に活用し、児童生徒の学ぶ意欲を高める多様な授業展開に努める。
- 「論理コミュニケーション」の遠隔授業を実施し、物事を筋道立てて考え、文章として表現する論述力を育成する。

主な事業	予算額(千円)
少人数教育推進事業費(臨時的任用講師の配置)	22,476
特別支援活動事業費(スタディ・メイトの配置)	25,308
論理コミュニケーション推進事業費【再掲】	4,081
教職員研修事業費	35,260
理科実験準備等支援事業費(観察実験アシスタントの配置)	992
学習指導費(ICT教育やプログラミング教育、道徳教育等の研修会の開催)	513

② 健やかな体をはぐくむ教育の充実

- 基本的な生活習慣の確立を基盤に、学校における適切な体育、部活動等の充実を図り、健康でたくましい児童生徒の育成に努める。
- 部活動において生徒の多様な能力を伸ばすため、小中一貫教育を活か

した指導の充実や、地域人材の活用、競技団体等との連携に努める。

- 休日の部活動の地域移行についての実践研究を進め、学校、家庭、地域、民間、各競技団体等が一体となり、地域ぐるみで子供たちの成長を支える新たな部活動の高岡モデルを構築する。
- 子どもたちの安全・安心・健康を最優先とし、学校における感染症の拡大を防止するとともに、定期健康診断や小児生活習慣病予防健診等を実施し、疾病や生活習慣病の予防に努め、学校・家庭・関係機関と連携をとりながら、児童生徒の健やかな心身の育成を図る。
- 学校給食を通して、児童生徒に正しい食事の在り方や望ましい食習慣を学ばせるなど食育の推進を図るとともに、安全かつ安心な学校給食の提供に努める。
- 長引く物価高騰等による給食費徴収額改定に伴い、一般児童生徒保護者への負担軽減を図る対応として、給食費の一部を補助する。
- 緊急を要する医療事故や火災、地震、不審者等に備えた訓練を実施するなど、防災・安全教育を推進する。

主な事業	予算額（千円）
学校給食運営管理費	173,911
学校給食指導費	36,523
児童・生徒健康診断費	28,998
保健管理指導費（学校環境衛生検査、AEDの更新等）	19,219
学校給食設備整備費	25,975
部活動育成費（スポーツエキスパート、部活動指導員の配置）	7,620
小児生活習慣病対策事業費（たかおかキッズ健診）	6,365
地域運動部活動推進事業費	2,853
就学時健康診断費	1,313

③ 豊かな心をはぐくむ教育の推進

- 自他の生命や人権を尊重し、自然との共生を大切にする教育を推進する。
- 温かい人間関係を基盤とし、自己存在感や自己有用感を高める教育の充実に努める。
- 児童生徒がよりよく生きるために自ら考え、判断できるよう、「特別の教科 道徳」の授業を要とし、学校の教育活動全体を通じて、道徳教育の充実に努める。
- 互いの違いやよさを認め、多様性を尊重する共生社会への意識を醸成する。

- 不登校や暴力行為など生徒指導上の諸課題に対しては、全校体制による組織的な対応に努め、適切な指導や援助を行う。
- 学校図書館の機能を充実し、児童生徒の読書意欲を高め、豊かな感性の基盤をはぐくむ。
- 不登校児童生徒、外国人児童生徒、特別支援教育が必要な児童生徒とその保護者に対する支援機能を集約した教育総合支援センター（仮称）の供用開始に向け、整備を行う。

主な事業	予算額（千円）
学校司書配置事業費	48,165
教材教具費[図書購入費]	23,650
不登校児童生徒対策事業費（電話・面接相談、適応指導教室）	8,941
いじめ・不登校対策事業費（心の教室相談員の配置）	929
教育総合支援センター（仮称）整備事業費	343,473

④ 特別支援教育の推進

- コーディネーターが中心となり、校内委員会を円滑に進めるとともに、児童生徒の実態を的確に把握し、ＩＣＴを活用した「合理的配慮」を行うなど一人ひとりのニーズに応じた指導・支援に努める。
- 特別支援学校及び専門機関との情報交換や校内外の研修会等を通して、教師の専門性を高める。
- きずな子ども発達支援センターの「発達支援室」を中心に、子どもに関係する機関や団体が連携し、情報を共有することで、子どもの望ましい発達支援に努める。
- 医療的ケアを必要とする児童生徒への対応のため、小・特別支援学校に看護師を配置し、必要な支援に努める。

主な事業	予算額（千円）
特別支援活動事業費（スタディ・メイトの配置）【再掲】	25,308
教育振興事業費（医療的ケアを行う看護師の学校への配置）	9,159
教育総合支援センター（仮称）整備事業費【再掲】	343,473

⑤ 情報化、国際化に対応した教育の推進

- 児童生徒の情報活用能力をはぐくみ、より主体的・対話的で深い学びが実現できるよう、ＩＣＴ教育環境の整備を推進する。
- 安定的なＩＣＴ教育環境を維持するため、一人一台学習専用端末及び指導用端末の更新を行う。
- 校務のクラウドストレージ及び統合型校務支援クラウドを円滑に運用

し、教員の校務情報管理の効率化、セキュリティの強化を図る。

- 教員の情報分野に関する指導力・活用能力の向上を図り、一人一台学習専用端末や大型ディスプレイ等のＩＣＴの有効活用、指導の充実に努める。
- 遠隔教育システムを活用し、海外の児童生徒との遠隔交流学习を取り入れるなど、多様な学習活動の工夫に努める。
- 世界的な視野を広げ、実践力を高めるよう、ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の諸課題を自らの課題として受け止め、協力して解決方策を提案するプロジェクト学習を進めます。
- 外国人児童生徒への支援を充実し、相互に理解を深め、ともに学ぶ姿勢をはぐくむ。
- 小学校での外国語活動や外国語科の指導の充実、小学校から中学校への円滑な学びの接続を図る。また、総合的な学習の時間や学校行事を通して異文化に理解を深め、国際的な視野を広めるよう努める。

主な事業	予算額（千円）
地域イントラネット整備事業費（ＩＣＴ支援員配置、校務のクラウドストレージ及び統合型校務支援クラウド運用、端末の保守等）	136,354
学校ＩＣＴ環境整備事業費	746,938
外国青年講師招致等事業費（ＡＬＴの配置）	62,447
英語等活動推進事業費（ＪＴＥの配置）	16,076
論理コミュニケーション推進事業費【再掲】	4,081
外国人児童生徒教育支援事業費（相談員配置、日本語指導教室）	10,077
小中一貫教育推進事業費（英語学習パートナーの配置）【再掲】	795
学習指導費（ICT教育やプログラミング教育、道徳教育等の研修会の開催）【再掲】	513
教育総合支援センター（仮称）整備事業費【再掲】	343,473

3 絆を深め、ふるさと高岡に愛着と誇りを育む地域ぐるみの学びの推進

① 学校、家庭、地域の連携による児童生徒の健全育成

- 学校と家庭、地域社会との連携を密にし、地域ぐるみで児童生徒の健全育成を推進する。
- 学校評議員制または学校運営協議会の活用と学校評価やアクションプランの公開により、家庭や地域と共にある学校づくりに努める。
- 「高岡市いじめ防止基本方針」に基づき、学校、家庭、地域、関係機

関等が連携し、いじめの防止等の対策に取り組む。

- 「高岡市通学路交通安全プログラム」に基づき、通学路の交通安全を確保するとともに、家庭・地域や学校安全パトロール隊等と連携を図り、児童生徒の登下校時の安全確保に努める。

主な事業	予算額（千円）
青少年悩みごと相談事業費（少年なんでも相談所の設置）	9,610
いじめ・不登校対策事業費（心の教室相談員の配置）【再掲】	929

② 家庭や地域の教育力の向上

- 各種団体等と連携し、地域における教育活動の推進役を担う次世代リーダー、サポーターの養成に努める。
- 学校・家庭・地域と連携し、青少年の文化活動やスポーツ活動等の体験活動の機会充実に努める。
- 「高岡の歴史文化に親しむ日」などでの実践を通して、優れた伝統文化にふれる機会の提供に努める。
- 地域における有害環境の改善や、迷惑行為の防止などの取組みを支援するとともに、児童生徒の問題行動等に対応するための教育相談体制の充実に努め、育成環境づくりを推進する。
- 子育て中の親学びを中心とした家庭教育支援をはじめ、青少年、成人への生涯学習支援の推進に努める。
- 図書館やボランティア団体等と連携し、家庭・地域における子どもの読書活動の推進に努める。
- 地域の施設や人材を活用し、放課後子ども教室や土曜学習を推進する。

主な事業	予算額（千円）
子ども元気活動支援推進事業費（放課後子ども教室・土曜学習の実施）	3,648
社会教育関係団体支援事業費（女性団体・少年団体・青少年育成団体等の活動への支援）	3,632
生涯学習事務費（地区や団体の文化活動への支援）	2,246
ジュニア育成コミュニティ活動事業費（団体活動への支援）	1,000
ブックスタート事業費	910
孫とおでかけ支援事業費（世代間交流等を図るための施設観覧料の減免）	856
家庭教育支援事業費（家庭教育推進サポーターの配置）	340

③ ふるさと学習の推進

- 「ものづくり・デザイン科」の学習を通して、郷土の伝統工芸や産業、優れた技術をもつ人々に接し、ものづくりの素晴らしさを感じ取るとと

もに、郷土を愛し、未来に向けて心豊かな生活を創造していく能力を育てる。

- 「高岡の歴史文化に親しむ日」や「たかおか『解体新書』事業」の取り組みを通して、歴史の町並みや建造物に理解を深め、祭礼や年中行事に積極的に参加し、ふるさとのよさを実感するなど、「高岡」の歴史文化に誇りをもつ児童生徒の育成に努める。
- 郷土に関する副読本等を活用し、郷土の文化と伝統を大切にする心をはぐくむ指導を充実する。
- ふるさとの偉人の生き方を学び、自らも困難を乗り越え、社会に貢献したいと考える児童生徒の育成に努める。
- 市立図書館が収蔵している高岡の歴史資料を解説・調査・修復・デジタル化し活用を推進する。

主な事業	予算額（千円）
ものづくり・デザイン科推進事業費【再掲】	13,065
高峰譲吉博士顕彰事業費【再掲】	615
論理コミュニケーション推進事業費【再掲】	4,081
古文書調査事業費	2,460
小学校郷土学習費（副読本の配布）	958
小学校地域学習サポート事業費（地域人材の活用）【再掲】	378
ふるさと教育推進事業費（高岡の歴史文化に関する俳句等の募集・表彰）	100

4 共に生き共に創る、地域に活力を生み出す人生100年時代の学びの推進

① ふれあいと語らいの生まれる生涯学習の機会と場の提供

- 地域住民の学習意欲に応えるため、32か所の地域交流センターと4か所の公民館を地域における生涯学習の拠点として位置づけ、住民ニーズに合わせた生涯学習事業を企画実施するとともに、地域人材の発掘、育成に努める。
- 地域の特色を生かした世代間交流事業などを奨励し、住民同士がふれあい、語らうことのできる地域づくりを推進する。

主な事業	予算額（千円）
区域内公民館連携推進事業費補助金（自治会公民館と市立公民館の連携）	4,584
地域生涯学習推進事業費（地区の学習活動への支援）	4,538
孫とおでかけ支援事業費【再掲】	856
公民館フェスタ実行委員会補助金【社会教育関係団体支援事業費に含む】	320

② 地域に根ざした学習活動の育成

- 各種の社会教育団体等の活動を支援し、ふるさとの自然・歴史・文化に親しむ機会の充実を図る。
- 高岡にゆかりのある文学や高岡が舞台となっている物語、童話、民話、昔話、言い伝えなどの普及・活用を図り、ふるさとの歴史文化の継承に努める。
- 読書活動の普及・啓発の中核を担う市立図書館の活用について、幅広い観点から検討を進める。

主な事業	予算額（千円）
図書購入費	27,500
区域内公民館連携推進事業費補助金【再掲】	4,584
地域生涯学習推進事業費【再掲】	4,538
社会教育関係団体支援事業費【再掲】	3,632
生涯学習事務費（地区や団体の文化活動への支援）【再掲】	4,904
孫とおでかけ支援事業費【再掲】	856
高岡の伝承紙芝居デジタル化事業【図書館企画事業費に含む】	511

③ 生涯学習体制の充実

- 地域における生涯学習活動の充実を図るため、支援員を32か所の地域交流センターに派遣する。
- あらゆる世代の生涯学習ニーズを的確に把握し、学習の機会と場を提供する。また、地域における教育活動の推進役を担う次世代リーダー、サポーターの養成を行うとともに、社会教育団体への支援を行い、活動の充実を図る。
- 生涯学習センターや地域交流センター、公民館などの施設で実施する学習講座について、ホームページ等を活用した情報発信の充実に努めるとともに、オンライン講座や研修など新たな手法による取り組みを推進する。
- 市民主体の地域活動や学習活動を促進するため、各地区の生涯学習推進協議会を中心とした地域に根ざした生涯学習活動の活性化を支援する。
- 生涯学習センターやふくおか総合文化センター、地域交流センターなどの生涯学習関連施設と公民館の連携を図り、生涯学習によるまちづくりを推進する。

主な事業	予算額（千円）
区域内公民館連携推進事業費補助金【再掲】	4,584
地域生涯学習推進事業費【再掲】	4,538

生涯学習センター講座開設事業費	1,185
学級講座等振興費（福岡地区における講座等）【公民館管理運営費に含む】	311
公民館フェスタ実行委員会補助金【社会教育関係団体支援事業費に含む】【再掲】	320

④ 若者が主体となるまちづくりの推進

- 地域の行事やまちづくり活動への若者の積極的な参加を促し、自分たちが住むまちや地域の伝統文化、歴史等に愛着を醸成するよう努める。
- 若者がイベントやまちづくり活動などの企画・運営に主体的に取り組めるよう機運の醸成に努める。

主な事業	予算額（千円）
リトルイング 賑わい創出事業費（ウイング・ウイング 高岡交流スペースでのイベント開催）	200

5 夢や希望を育み、健康を支えるライフステージに応じたスポーツの振興

① 生涯スポーツ活動の充実

- 公益財団法人高岡市スポーツ協会を中心に高岡市体育振興会や高岡市スポーツ推進委員、各種スポーツ関係団体と連携を図り、市民が主体的にスポーツに参加できる機会の充実に努める。
- 各種スポーツ関係団体の育成とスポーツ指導者の養成及び確保に努める。
- 市民のスポーツ活動への参加を促すため、イベント・行事予定等の積極的な情報提供に努める。
- 市民の自主的なスポーツ活動を支援するとともに、各学校の体育施設を有効活用し、学校体育施設開放事業を推進する。
- 公益財団法人高岡市スポーツ協会や各種スポーツ関係団体と連携・協力し、競技スポーツの育成強化と普及振興に努める。
- 県内に拠点を置くプロスポーツチームやトナミ運輸バドミントン部、伏木海陸運送硬式野球部などのプロスポーツ・社会人スポーツとの連携によるスポーツまちづくりを推進する。
- 「第2期高岡市スポーツ推進プラン」に基づき、「いつでも、どこでも、だれでも」気軽にスポーツを楽しむことができる環境の充実に努める。
- 市民のニーズを捉えた、市全体での適正なスポーツ施設のあり方を検討する。

主な事業	予算額（千円）
高岡市スポーツ協会補助事業費	84,497
高岡市スポーツ協会委託事業費（ジュニア選手育成強化事業等）	8,105

学校体育施設開放事業費	4,625
スポーツ推進委員事業費	3,020
全国大会等出場補助金（激励金、全国大会等開催補助、トップアスリート及びネクスアスリートへの支援）	5,816
たかおかスポーツ推進事業（運動あそびアドバイザー派遣・育成事業、トップアスリートと一緒に！初めてのスポーツ挑戦事業 等）	3,356
体育団体活動支援事業費（団体活動への支援）	4,455
スポーツ大会・合宿等誘致促進事業費（呉西圏域での取組み）	500

② 民間活力を取り込んだスポーツ施設の運営や整備の推進

- 指定管理者において利用者である市民ニーズを把握し、それらに応じて施設を効率的・効果的に運営する。
- 本市のスポーツ中核拠点施設である、スポーツコアの魅力を高めるスポーツコアリフレッシュ事業を実施する。（令和7年度は、テニスコート人工芝張替実施設計を行う）
- スポーツ環境の充実を目指し、竹平記念体育館サブアリーナ整備事業を実施する。（令和7年度は、基本設計を行う）
- アーバンスポーツについて、市民ニーズを把握しながら、施設整備を検討する。
- 施設予約システムやスマートロックシステムを導入し、管理の無人化・省人化を図る等、管理・運営の効率化に取り組む。

主な事業	予算額（千円）
たかおかスポーツ推進事業（アーバンスポーツトライアルプロジェクト）	22,000
体育施設管理委託事業費（指定管理者への委託）	171,279
体育施設改修等整備事業費	48,613
（うち、高岡市テニスコート人工芝張替事業）	(10,000)
（うち、竹平記念体育館サブアリーナ整備事業）	(27,000)
（うち、アーバンスポーツ調査事業）	(8,000)
高岡西部総合公園管理運営費	65,539
体育施設管理運営費	14,899

6 文化創造都市高岡の優れた歴史・文化の保存・活用とさらなる創造

① 歴史・文化資産を活かしたまちづくりの推進

- 令和6年能登半島地震によって被害を受けた市内文化財の復旧を進める。

- 重要伝統的建造物群保存地区「山町筋」、「金屋町」、「吉久」の建造物の修理・修景をはじめ、保存活用計画に基づく環境整備を進める。
- 国宝「瑞龍寺」、「勝興寺」、重要文化財「菅野家住宅」、「武田家住宅」などの建造物の保存・活用を進める。
- 国史跡「高岡城跡」及び「加賀藩主前田家墓所（前田利長墓所）」は、計画に基づく整備に努めるとともに、史跡の本質的価値の向上を図る。
- 重要有形・無形民俗文化財「高岡御車山」の保存・修理を計画的に進める方針を保存会と連携し策定に着手する。
- 「歴史文化基本構想」、「第2期歴史的風致維持向上計画（歴史まちづくり計画）」に基づいて、「文化財保存活用地域計画」を作成し、文化財を活かしたまちづくりを進める。
- 市民に本市の歴史、文化財の魅力に興味を持ってもらう機会の充実を図る。

主な事業	予算額（千円）
国宝及び重要文化財（建造物）災害復旧事業費	9,267
重要伝統的建造物群保存地区整備事業費（災害復旧事業）	42,938
史跡災害復旧事業費【繰越】	50,751
重要伝統的建造物群保存地区整備事業費（修理・修景補助）	11,274
文化財管理事業費（武田家住宅等の管理、㊦文化財の魅力発信事業等）	23,047
瑞龍寺保存整備事業（国宝・重要文化財建造物耐震診断事業補助）	8,591
高岡城跡保存整備事業費	1,718
まちなか歴史資産魅力向上事業費（たかおか「解体新書」事業ほか歴史文化資産の広報等）	2,537

② 埋蔵文化財の調査・研究・活用の推進

- 開発事業によって消滅のおそれのある遺跡について発掘調査を実施し、記録保存するとともに、調査成果について研究を進める。また、現地説明会や遺物展示会などを通して、情報提供に努める。
- 埋蔵文化財センターを活用し、埋蔵文化財の広報・普及事業を実施する。

主な事業	予算額（千円）
遺跡発掘調査事業費	16,798
埋蔵文化財室管理事業費（埋蔵文化財センターの管理運営）	7,056